

六年国語「帰り道」①◆教科書三十一、三十二ページを参考にしながら考えましょう。

【学習のめあて】視点がどのように変わっていくかを読み、感想をまとめよう。

ポイント 物語を二つの視点からひもとく。

それぞれの場面での「視点」と「周せ」はどのように書き分けていたでしょうか。

6年

天気雨の後	天気雨の間	天気雨の前の帰り道	放課後の玄関口	昼休み	場面	
					律	考えていたこと・心情
					周せ	

六年国語「帰り道」② ◆教科書三十、三十一ページを参考にしながら、考えましょう。

ポイント2 人物像をより見える手がかりをさがそう。

次の言葉を参考にして、「律」と「周也」の人物像を考えましょう。

【人物像を表す言葉の例】			
たくましい	おおらか	おっとり	しんちよう
落ち着き	おくびよう	おだやか	たのもし
おっちょこちよい	あわてんぼう	おしゃべり	正直
ひかえめ	気弱	消極的	積極的
		冷静	マイペース
			まっすぐ
			活発

	律		周也
「律」から見た「律」		「周也」から見た「周也」	
あなたから見た「律」		あなたから見た「周也」	
「律」の人物像を一文でまとめよう。		「周也」の人物像を一文でまとめよう。	

六年国語「帰り道」③

◆教科書二十、三十一ページを読みながら、問いに答えましょう。

ポイント3 観点を決めて感想を書こう。

111までの学習を振り返りかえってみましょう。

ポイント1では、「律」と「周世」の視点から、それぞれの心情や捉え方の違いについて考えました。
ポイント2では、「律」と「周世」、二人の人物像について考えました。

さて、みなさんは、その後の二人の関係がどのように変化すると思いますか？
その後の二人の関係を想像して書きましょう。

物語を視点を変えて読んだり、人物像についてさまざまな視点から考えたのと同じで、物語全体を読み深めることができたいと思います。

みなさんは、どのようないきさを感じたり、考えたりしましたか？
観点を決めて感想を書きましょう。

感想を書く観点の例は、教科書三十一ページ**3**を読みましょう。

観点を決めたら、なっとく感想を書きましょう。字数は二百字程度です。

